

令和元年10月25日から

令和版営農会議を開催します



令和元年10月21日

地域農業の現状と課題

高 齢 化

担い手不足

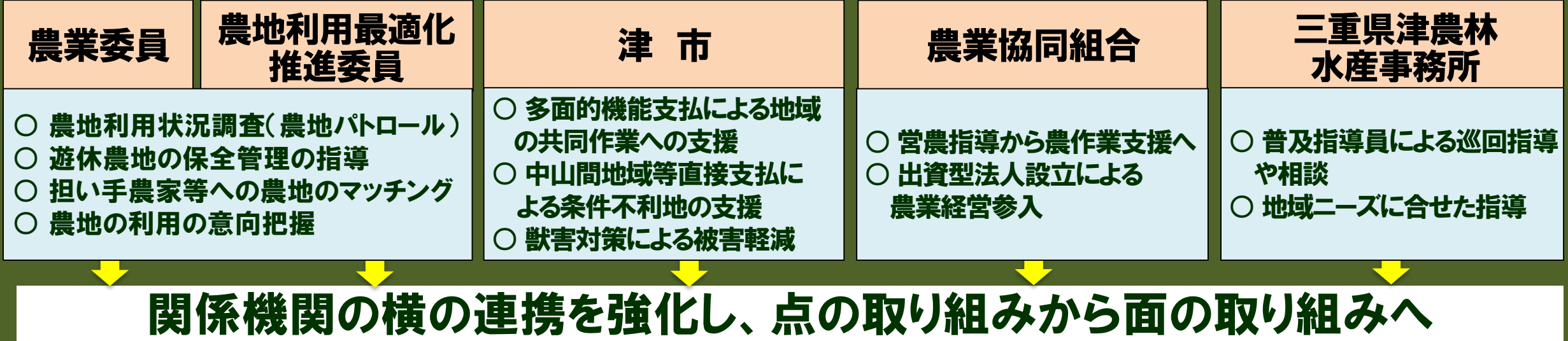
遊 休 農 地

遊休農地の面積	H23年度 67ha → H28年度 153ha → H30年度 151ha 増加 ※ ここ3年間は、農地利用最適化推進委員の活動により微減
担い手への集積状況	H28年度 37.0% → H30年度 43.4%
農業法人の経営水田 面積集積状況	H28年度 13.5% → H30年度 20.5%（集積率 7ポイント増加） ※ 近年は、農業法人等への集積は進んでいるが、個人認定農業者については鈍化傾向
農地中間管理機構を 活用した集積農地	H28年度 48.7ha → H29年度 22.0ha → H30年度 17.9ha 減少傾向 ※ 農地中間管理機構とは、農地を借りたい人、貸したい人をつなぐ役割を果たす組織（農地集積バンク）

耕作しやすい平坦地の農地などは合意形成が進み集積・集約化されたが、中山間にある農地は集積・集約化が低調であり、引き受け先のない農地が遊休農地として増加

高齢化による農業離れが急速に進み、遊休農地の問題はより厳しい状況に直面

地域農業の課題解決のために



5者が顔の見える関係を構築し、地域農業の課題解決へ

令和版営農会議について

高齢化による担い手不足、遊休農地解消、獣害対策など各々の地域における課題解消のために

津地域3エリア、総合支所9エリアの計12エリアにて令和版営農会議を設置

①具体的な進め方

- ・農業委員会と市が市内全域において、農地パトロールを協働で行い現況把握
- ・転作確認や制度説明会などで現場に出向いた際に地域課題を把握

②地域課題の解決に向けて

- ・地域で顔の見える関係を構築し、地域課題に対して徹底的に話し合う



状況の把握

8月5日から10月10日の期間において、農業委員及び農地利用最適化推進委員と事務局職員と市職員で農地パトロールを実施し、現場を把握

開催時期

10月25日から11月13日にかけて、各エリアで第1回を開催。12月から第2回目を、2月から第3回目を開催予定

関係5者が一堂に会し、営農会議を定期的に行うことで、農地の利用最適化と耕作継続につなげていく

第1回「令和版営農会議」開催日程

名 称	開催日時		開催場所
津北部地域令和版営農会議 (白塚・栗真・一身田・大里・高野尾)	10月30日(水)	10時00分から	三重県津庁舎
津中央地域令和版営農会議 (橋北・敬和・養正・新町・橋南 ・安東・神戸・櫛形・片田)	11月 6日(水)	15時00分から	JA津安芸本店
津南部地域令和版営農会議 (藤水・高茶屋・雲出)	10月29日(火)	13時30分から	雲出市民センター
久居地域令和版営農会議	10月31日(木)	14時00分から	JA三重中央久居支店
河芸地域令和版営農会議	11月 5日(火)	13時30分から	津市河芸庁舎
芸濃地域令和版営農会議	10月30日(水)	13時30分から	津市芸濃庁舎
美里地域令和版営農会議	10月25日(金)	18時30分から	津市美里庁舎
安濃地域令和版営農会議	10月25日(金)	16時00分から	津市安濃庁舎
香良洲地域令和版営農会議	11月13日(水)	18時30分から	JA一志東部香良洲支店
一志地域令和版営農会議	10月30日(水)	13時30分から	津市一志庁舎
白山地域令和版営農会議	10月30日(水)	13時30分から	津市白山庁舎
美杉地域令和版営農会議	10月29日(火)	14時00分から	美杉総合文化センター

令和元年10月23日から

第15回津シティマラソン大会 サオリーナ杯2020参加申込開始！

 TSU CITY MARATHON
SAORINA CUP 2020



令和元年10月21日

第14回津シティマラソン大会サオリーナ杯2019の様子

津シティマラソン大会のコースが、安濃中央総合公園をスタート・ゴールとしていた従来のコースから、サオリーナをスタート・ゴールにした市街地コースに変更し開催！

開催日

平成31年2月10日 

参加申込

前回比
4,495人 (1,779人増)
市内 2,747人 市外 1,422人
県外 326人

スペシャルゲスト

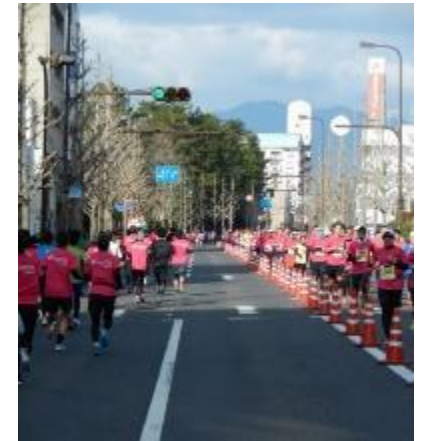
吉田沙保里 さん

催しもの

物産展を同時開催

ランナーの声など

- 普段は走れない新しい市街地コースは、皆さんから好評の声！
- 10kmの参加賞の大会オリジナルTシャツを着て走るランナーがコースを彩る景色は圧巻！
- メッセウイング・みえで開催された物産展では、うなぎやアイスクリームなどが大好評！



今回の改善点① ～昨年度の応募をうけて～

point

多くのランナーの方に津シティマラソン大会をお楽しみいただくために

- ◆募集定員の拡大 4,000人 ▶ **5,000人**
- ◆部門の新設 男女30歳～40歳代(10km、5km) ▶ 男女30歳代(10km、5km)
男女40歳代(10km、5km)

point

会場(サオリーナ)へのアクセスを充実するために

- ◆駐車場を拡大 2,778台 ▶ **約3,350台**
- ◆駐車場を会場と西方面、南方面、北方面に設置

サオリーナ周辺駐車場・・・約1,400台

西方面:安濃中央総合公園駐車場・・・約800台

新

南方面:イオン久居駐車場・・・約 400台

北方面:三重県庁周辺駐車場・・・・・・・約750台

※ 会場周辺以外の駐車場からは会場まで無料シャトルバスで送迎

※ 津新町駅からは無料シャトルバスを運行

今回の改善点② ～ランナーの声をうけて～

point

実際に走行したタイムを把握するために

◆ネットタイム計測の導入(10km、5km)

- ・グロスタイム計測 ▶ 計測開始が号砲
- ・ネットタイム計測 ▶ 計測開始がスタートライン通過

point

ランナーが一体となりコースをホットピンクに染める

◆10kmの参加賞の大会Tシャツを事前送付

受付時の混雑による時間を解消

◆ナンバーカード(ゼッケン)の事前送付



第14回大会モデル
(参考)

ご来場から競技開始までをスムーズに準備できるように改善

第15回津シティマラソン大会サオリーナ杯2020の概要①

開催日時	令和2年2月9日 日 8:00 開会式 9:00 競技開始		
種目部門	対象	定員	参加料
10km	高校生以上	2,500人	3,000円
5km	高校生以上	1,000人	2,500円
	中学生		1,500円
2km	高校生以上	700人	2,000円
	小学4年生～中学生		1,500円
ジョギング	年齢制限なし (生活用車椅子参加可)	800人	1,500円
合 計		5,000人	

第15回津シティマラソン大会サオリーナ杯2020の概要②

大会ゲスト

おおやま かな
大山 加奈 さん （元バレーボール女子日本代表）

【プロフィール】

1984年6月19生まれ、東京都江戸川区出身。

小学校2年生からバレーボールを始め、小中高全ての年代で全国制覇を経験。

高校卒業後は東レ・アローズ女子バレーボール部に入部した。

日本代表には高校在学中の2001年に初選出され、オリンピック・世界選手権・ワールドカップと三大大会すべての試合に出場。力強いスパイクを武器に「パワフルカナ」の愛称で親しまれ、日本を代表するプレーヤーとして活躍した。

2010年6月に現役を引退し、現在は全国での講演活動やバレーボール教室、解説、メディア出演など多方面で活躍しながら、スポーツ界やバレーボール界の発展に力を注ぐ。



経 歴	2002年	世界選手権出場	現在スポーツキャスターとして活躍
	2003年	Vリーグ 新人王	
	2003年 2007年	ワールドカップ出場	
	2004年	アテネオリンピック出場	

おもてなし

メッセウイング・みえにて物産展を同時開催

◆津のうまいもんなどたくさんのお店

うなぎ、アイスクリーム、津ぎょうざなど



大会を盛り上げる

◆「第22回安濃津よさこい」準安濃津よさこい大賞 「天狗う」による演舞

◆三重大大学応援団によるエール

◆市内小学生によるのぼりの作成

◆エイドステーション（10km）



三重大大学よさこいサークル「天狗う」



三重大大学応援団

申込方法

● インターネット

インターネットポータルサイト

RUNETより申込み

<https://runnet.jp/help/>

● ゆうちょ銀行・郵便局窓口

最寄りのゆうちょ銀行・郵便局窓口より申込み

専用用紙請求窓口開設 ⇒ ☎ 048-778-5880

● 事務局窓口

津市北河路町19番地1 メッセウイング・みえ2階

津市スポーツ文化振興部 スポーツ振興課内

津シティマラソン実行員会事務局まで（平日 8時30分～17時00分）

先着順
定員となり次第締め切り

エントリー期間

10月23日(水)

11月22日(金)

問い合わせ先

津シティマラソン実行員会事務局

TEL 059-229-3254
FAX 059-229-3247



令和元年11月10日

津市総合防災訓練



令和元年10月21日

令和元年度津市総合防災訓練日時・会場

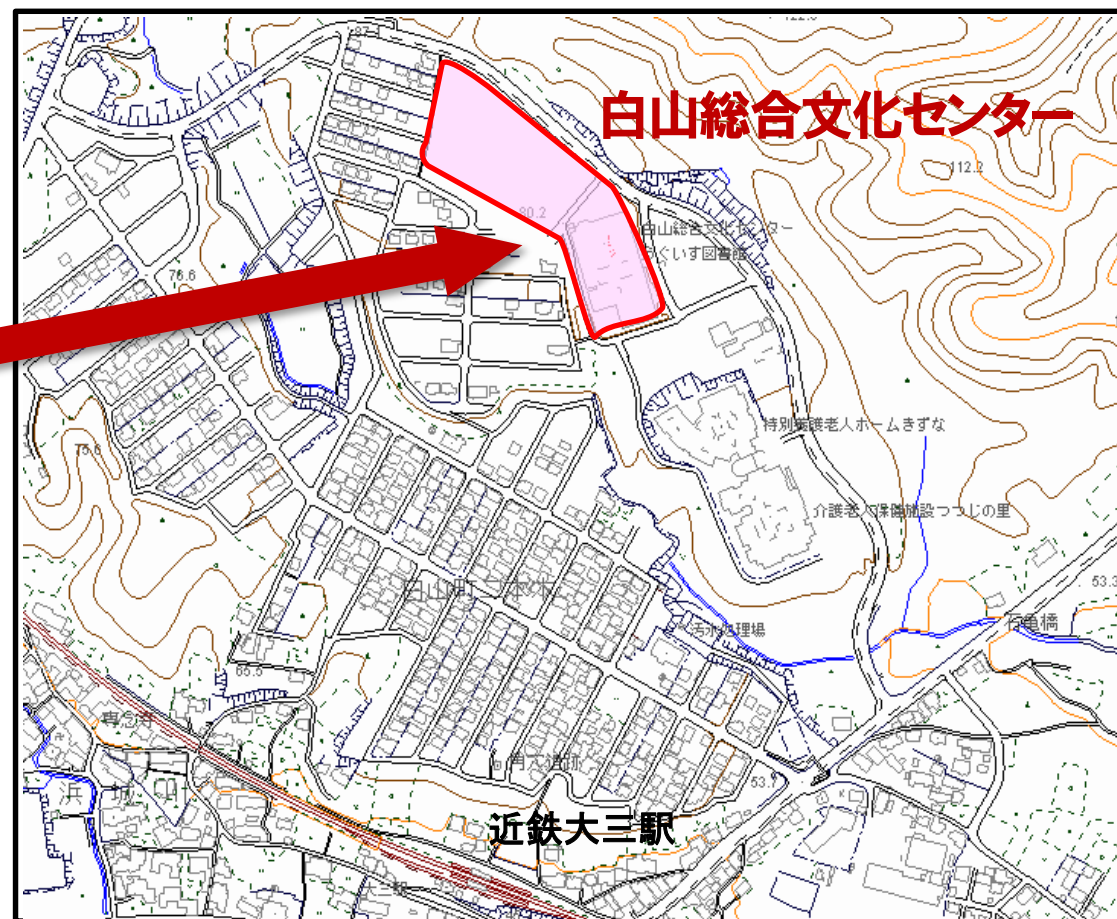
訓練日時

令和元年11月10日 日 9時～11時30分

- 雨天決行
- 警報発表時は中止

訓練会場

白山総合文化センター
ほか



訓練目的・テーマ

訓練目的

- ▶ 大規模地震や土砂災害等に備えた**実践的な災害対策訓練を実施し、**地域住民の防災意識の高揚と災害対応技術の向上や、防災関係機関相互の協力・連携体制の強化を図り、**災害時の被害の軽減に努める**

訓練テーマ

- ▶ 「自らの命は自らが守る」という意識が醸成された地域社会の構築に向けて

訓練実施方針

- ▶ 防災関係機関をはじめ、自主防災組織や民間企業、地域住民等が役割分担し、相互に連携しながら、実災害を想定した実践的な訓練の実施
- ▶ 地域の防災意識の高揚と災害時の行動、判断力等の災害対応力の向上

訓練想定・訓練特色

訓練想定

ぬのびきさんちとうえんだんそうたいせいぶ

令和元年11月10日、午前9時に布引山地東縁断層帯西部を震源とする
**マグニチュード7.4の巨大地震(震度6弱)が発生し、建物の倒壊、火災の発生、
道路・橋りょうの損壊、ライフラインの寸断など甚大な被害が生じ、人的被害も
多数生じている**

**また、山間地域では、大規模な土砂災害が発生しており、いくつかの孤立集
落も発生している模様である**

訓練の特色

- | | |
|-----|---------------------|
| 特色① | 地震・土砂災害を想定した合同訓練 |
| 特色② | 大規模集客施設避難訓練 |
| 特色③ | 津市災害時受援計画に基づく物資搬送訓練 |
| 特色④ | 地域防災力の強化 |



山間地域における土砂災害

特色①-1 地震・土砂災害を想定した合同訓練

①各防災機関が連携する実践的な訓練

◆災害現場における現地調整所の設営をはじめ、**自衛隊、警察、消防・消防団等の防災関係機関**が各災害想定において相互に連携し、地震や土砂災害等による**要救助者の救出救助**を主とした実践的な**合同訓練**の実施



②医療関係機関と連携した訓練

◆消防をはじめとする**防災関係機関が医療機関と連携し**、災害現場から重傷者をドクターヘリにより後方支援病院へ搬送する訓練の実施

◆**医師会と関係機関が連携しながら**、医療救護所の設置運営訓練の実施



特色①-2 地震・土砂災害を想定した合同訓練

③災害応援協定締結団体と連携した訓練

◆災害応援協定に基づき、関係団体と連携し、**ドローン等**を活用した情報収集・伝達訓練や緊急車両の通行の妨げとなる障害物の撤去(道路啓開)、消防用水の供給支援などを行う訓練の実施



④災害対策本部・現地対策本部設置運営訓練

◆被害が局地的に重大であることを想定し、**現地対策本部**を設置し、**災害対策本部と連携**しながら現地において災害対応にあたる訓練の実施

◆災害対策本部設置運営訓練においては、現実に近い想定のもと、**応急災害対応の意思決定を伴う、実践的な訓練の実施**



特色② 大規模集客施設避難訓練

① 訓練の主旨

◆大規模集客施設である白山総合文化センターしらさぎホールで、イベント等を開催している中、大規模地震などの不測の事態が発生したときに**来館者を避難誘導し、安全が確保できるよう避難訓練を実施する**



② 訓練のねらい

◆訓練を通じて職員の対応、緊急避難経路・避難場所の確認や点検など、**緊急避難における手順を確認するとともに、課題を発見する契機とする**

◆住民に対して、災害や火災などの**不測の事態に対する心構えの啓発を行う**



特色③-1 津市災害時受援計画に基づく物資搬送訓練

①訓練の主旨

◆大規模災害時に外部からの応援を円滑に受け入れ、その支援(物資)を効果的・効率的に活用できるようあらかじめ取り決めた「津市災害時受援計画」に基づき、**地域内輸送拠点(市物資拠点)の開設・運営訓練や支援物資の受け入れ、避難所までの輸送訓練**を行う

②訓練のねらい

◆「津市災害時受援計画」に定める支援物資の受け入れに関する**計画の検証**を行う

- ・地域内輸送拠点(市物資拠点)の開設・運営
- ・支援物資の受け入れ、避難所までの輸送

◆訓練を通じて、**実災害時の動きのイメージ化**を図る



※上記写真はイメージ写真

特色③-2 津市災害時受援計画に基づく物資搬送訓練

③物資搬送訓練イメージ図

☆国・県等の支援物資

津市災害対策本部

商工観光部 総務班

商工観光部 避難所連絡調整班

支援物資の輸送

出荷連絡

物資要請・受入報告

民間物流事業者等

物資出荷の指示

市民部又は各支部

出荷連絡

物資要請・受入報告

地域内輸送拠点（市物資拠点）
（仮想：道の駅津かわげ）

商工観光部 物資配送班

避難所

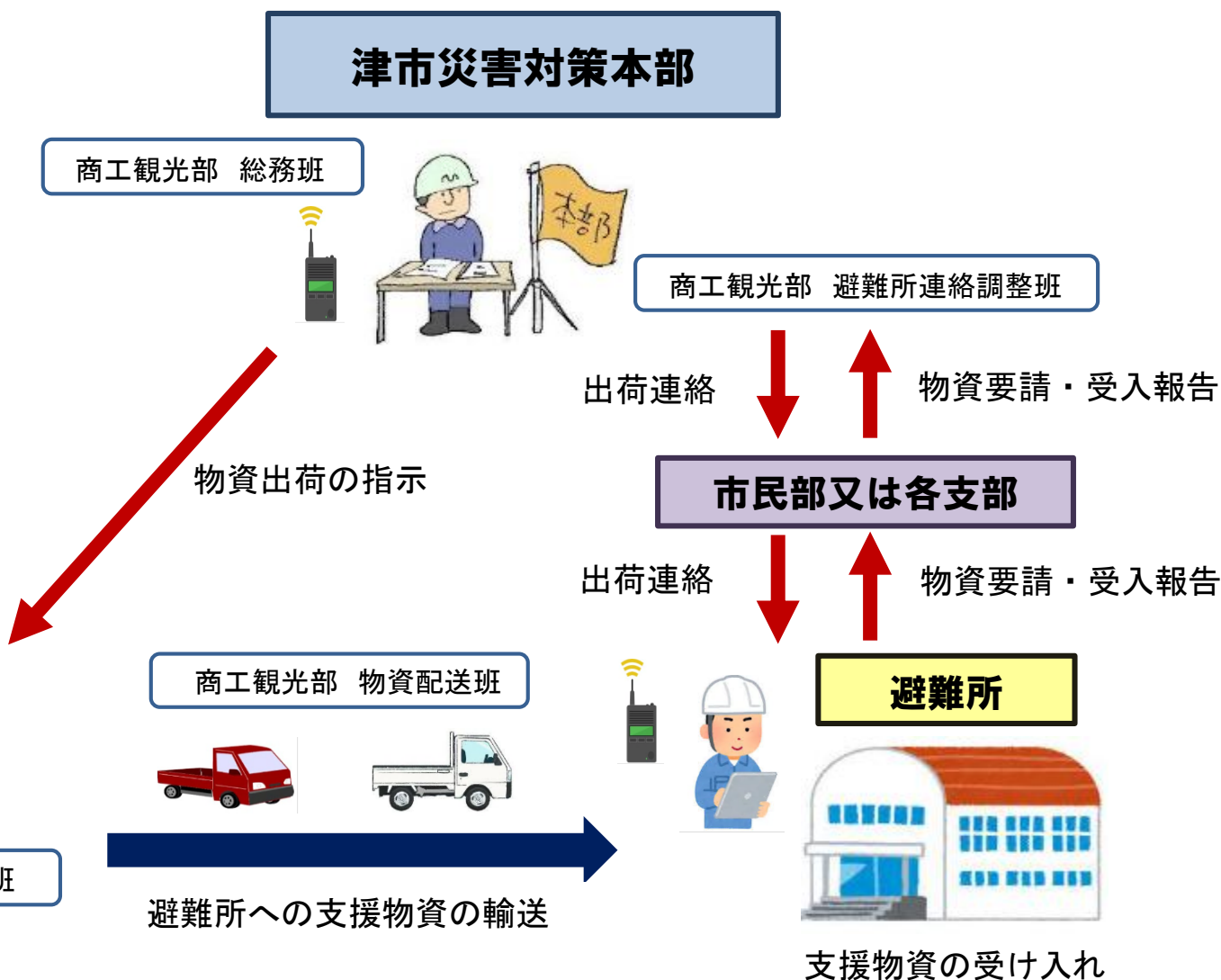
商工観光部 物資班

避難所への支援物資の輸送

支援物資の受け入れ

地域内輸送拠点（市物資拠点）の開設・運営

- 物資の入荷・とりまとめ
- 支援物資の輸送



特色④

地域防災力の強化

将来の防災リーダーの育成

津市立白山中学校生徒が自主参加。未来の防災を担う生徒たちが各種災害に対応する訓練の実施



自治会・自主防災会の災害対応力の底上げ

災害時の「共助」による迅速な災害対応が図れるよう避難所等で使用する防災資器材の取り扱い訓練などを実施



地域住民の防災意識の高揚

白山地域の自治会、自主防災会、消防団など地域住民が協働で各種訓練を実施することにより、地域の防災意識の高揚と一体感の醸成を図る



訓練内容

市・各防災関係機関

- 津市災害対策本部等設置運営訓練
- 現地調整所設営訓練
- 救出・救助訓練
- 医療救護所・現場医療救護所設営訓練
- 物資搬送訓練
- 情報収集訓練
- 電力設備復旧訓練 など

白山中学校生徒・地域住民等

- 救出救助訓練
- 初期消火訓練
- 負傷者搬送訓練
- 大規模集客施設避難訓練
- 防災資器材取り扱い訓練
- 各種体験訓練 など

その他関係機関

- 情報収集・伝達訓練
- 障害物除去(道路啓開)訓練
- 消火用水搬送訓練
- 防災物品等の啓発 など

体験・啓発コーナー

- 消火器体験
- AED取り扱い体験
- 煙体験
- 地震体験
- 住宅耐震促進啓発 など



令和元年度津市総合防災訓練参加機関

参加予定機関・人数

52機関

約1,000人

(内訳) 国・県関係 12機関
市関係 4機関
その他機関 22機関

医療関係 9機関
民間企業 5機関

※ うち災害応援協定締結団体 25機関

平成30年度の参加機関・人数

51機関 約1,100人

平成29年度の参加機関・人数

51機関 約1,100人



令和元年度津市総合防災訓練参加機関一覧

津市立白山中学校、津市自主防災協議会、白山町自治連合会、津市婦人防火推進委員会、津市ボランティア協議会、津市身障者福祉連合会、津市社会福祉協議会、特別養護老人ホームきずな、老人保健施設つつじの里、三重さきもり倶楽部中勢支部、みえ防災コーディネーター津ブロック、津地区医師会、久居一志地区医師会、津歯科医師会、津薬剤師会、三重県看護協会、三重大学医学部附属病院、三重中央医療センター、日本赤十字社三重県支部、三重県獣医師会津支部、国土交通省中部地方整備局三重河川国道事務所、津地方気象台、陸上自衛隊第33普通科連隊、航空自衛隊笠取山分屯基地、航空自衛隊白山分屯基地、三重県警察本部警備部機動隊、津警察署、津南警察署、三重県防災航空隊、三重県津保健所、三重県津地域防災総合事務所、三重県企業庁中勢水道事務所、西日本電信電話三重支店、NTTドコモ東海支社三重支店、中部電力(株)電力ネットワークカンパニー三重支社津営業所、コメリ災害対策センター、イオンリテール東海カンパニー、災害ボランティアアマチュア無線津、三重県ドローン協会、災害対策建設協会JAPAN47、津造園建設業組合、三重県レッカー事業協同組合、赤帽三重県軽自動車運送協同組合、中勢生コンクリート協同組合、生活協同組合コープみえ(津南センター)、日本非常食推進機構、三重県行政書士会、三重県公共嘱託登記土地家屋調査士協会、三重県建築士会津支部、津市消防本部、津市消防団、津市各部局【敬称略、順不同】

記者会見 令和元年10月21日（月）	
場所 津市政記者室	
事務担当課	
所 属	職・氏 名
環境部環境政策課 （電話059-229-3139）	環境政策課長 吉 住 充 弘

令和元年台風第19号による被災地への職員派遣について

台風第19号により被災した長野県飯山市への災害廃棄物に関する支援について、令和元年10月18日（金）に三重県を介して環境省中部地方環境事務所から照会があり、災害廃棄物仮置場運営等の支援準備をしていたところ、同月19日（土）に飯山市から職員の派遣について要請がありましたので、職員2名を派遣します。

記

1 派遣期間

令和元年10月21日（月）から同月27日（日）まで

2 派遣先

長野県飯山市

3 派遣職員（2名）

環境部環境政策課	資源循環推進担当主幹	よしだ 吉田	かずし 和司	47歳
環境部環境政策課	主事	さかい 酒井	たかひで 崇秀	34歳

4 活動内容

飯山市の指揮の下、飯山市が設置した災害廃棄物仮置場の運營業務（災害廃棄物の搬入車両等の誘導及び荷下ろし）に従事します。